

令和2年7月31日

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大状況に伴う園の対応について

平素は園の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。関東を中心に感染が広がってきており、大阪においても新規感染者が増加し「大阪モデル」のステージが既に「イエロー（警戒）」に移行しています。20代、30代を中心に夜の繁華街等での感染が多いようですが、府内市町村においても教育・保育施設で感染が発生しております。既にHPの情報公開でお知らせした通り、国内外の事例から幼児の相互の感染リスクが低いことや感染しても無症状・軽症の場合も多いことが知られています。しかしながら、感染経路不明のケースも多く、今後ご家庭や園で細心の注意を払っていく必要があります。

そのような状況を踏まえて園としては、今後の感染に関する対応をケース別に、以下の通りとさせていただきます。誰がなったのか＝自分や我が子は接触していたのか等はとても気になるとは思いますが、何度かお知らせした通り、感染した方を責めるようなことだけは絶対にあってはならないことですし、新型コロナウイルス感染症に関わったの偏見や差別、いじめなどが起こらないようにご配慮、ご注意をいただきますよう重ねてお願いいたします。

尚、イエロー（警戒）になったことにより、園における教育活動について制限されるわけではありませんが、引き続き感染症対策を行ってまいります。今後、さらに感染者が増加し、レッド(特定警戒都道府県)に移行した場合は、既にお知らせした通り、「分散登園・短縮保育」になる可能性があります。その場合はすぐにお知らせいたします。

CASE1 ご家族・近親者が濃厚接触者と接触した。

例) 園児の兄の友達の家族が感染した
保護者の職場で感染が出た。

- ・保健所から濃厚接触者に指定されていないので園児は通常通り登園
- ・園から保護者の方への通知はしません。

CASE2 ご家族が濃厚接触者に指定された

- ・当該園児は自宅待機 当該クラスの保育は保健所等関係機関と協議の上決定
- ・園全体の保育は実施
- ・当該クラスが学級閉鎖等を実施する必要がある場合は全保護者の方へ通知

CASE3 園児、職員が濃厚接触者になった

例) 園児、職員が感染した人と濃厚接触した場合

- ・当該園児、職員は感染者と最後に濃厚接触した日の翌日から起算して2週間の出席停止（感染の状況や協議の結果短くなる場合もあり）
- ・当該クラスの保育は保健所等関係機関と協議の上決定
- ・園全体の保育は実施、保護者への通知

CASE4 園児・職員が感染

- ・園は臨時休園（保健所の判断に要する期間は概ね3日間）
保健所等関係機関の指示・助言、感染の拡大状況等を踏まえ、休園期間を決定
- ・保護者への周知 感染者名は非公表、クラス名は通知
※職員の場合は公表する場合もあり

※8月8日から17日の夏期休業中に、上記に該当するケースが発生した場合は、木の実幼稚園の緊急用の携帯電話メールアドレス aero0007@ezweb.ne.jp まで、必ずお知らせください。追って対応を通知いたします。

理事長・園長 今川 公平

(参考)

※濃厚接触者の定義

濃厚接触者とは、感染者が新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した2日前から隔離開始までの間に接触した者のうち

- ・「感染者」と同居あるいは長時間の接触（車内や航空機内等を含む）があった者
- ・手で触れることのできる距離（目安として1m）で、必要な予防策なしで、「感染者」と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）など

(参考資料)

※学校における新型コロナウイルス感染拡大第2波への備え
(学校教育活動と感染拡大防止策との両立)